

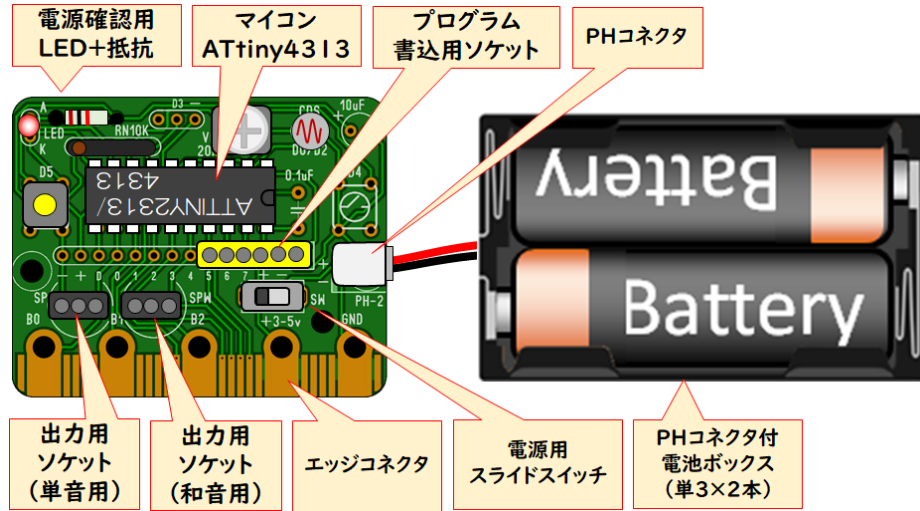
J A E R A 教材

# ヒダピオ M ボード

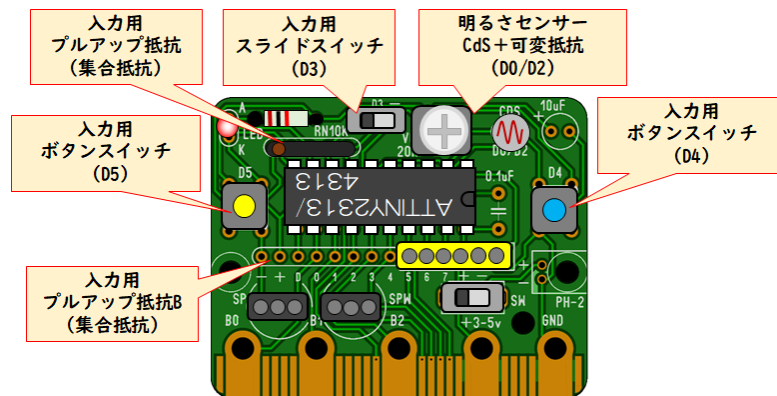
(簡易使用説明書)

# 1. ヒダピオ M ボード (電子オルゴール版)

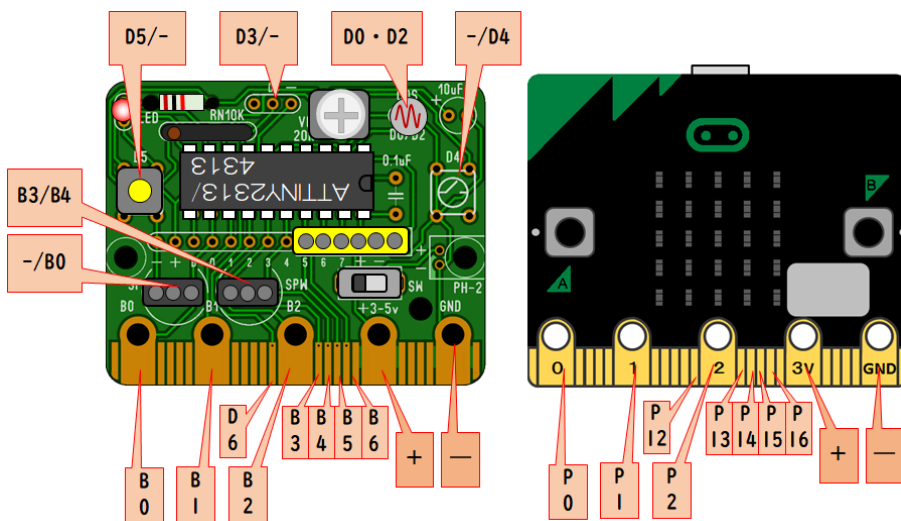
(1) 各部の名称



(2) 入力部の名称



# 2. ヒダピオ M ボードと micro:bit のエッジコネクタの関連

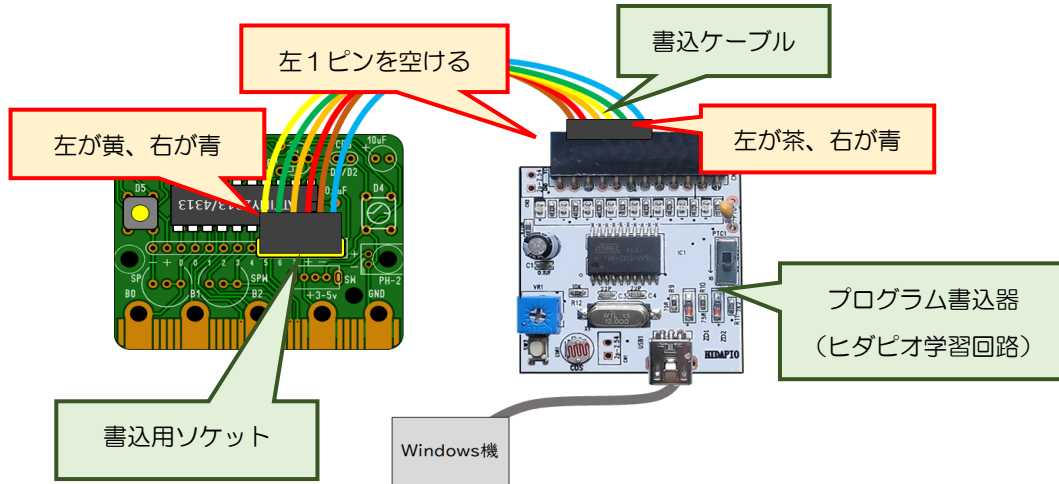


### 3. ヒダピオ M ボードへのプログラムの書き込み方法

#### ヒダピオ学習回路との接続

書込ケーブルは赤が+になるようにソケットに差し込みます。

※ヒダピオ M ボードでは左が黄、右が青、ヒダピオ学習回路では左が茶、右が青となります。



### 4. JA制御ヒダピオ

#### 準備

(1)「ja\_hidapio.exe」をダウンロードして保存します。

※保存する場所の例)デスクトップ、マイ ドキュメント、Dドライブ、USBメモリ

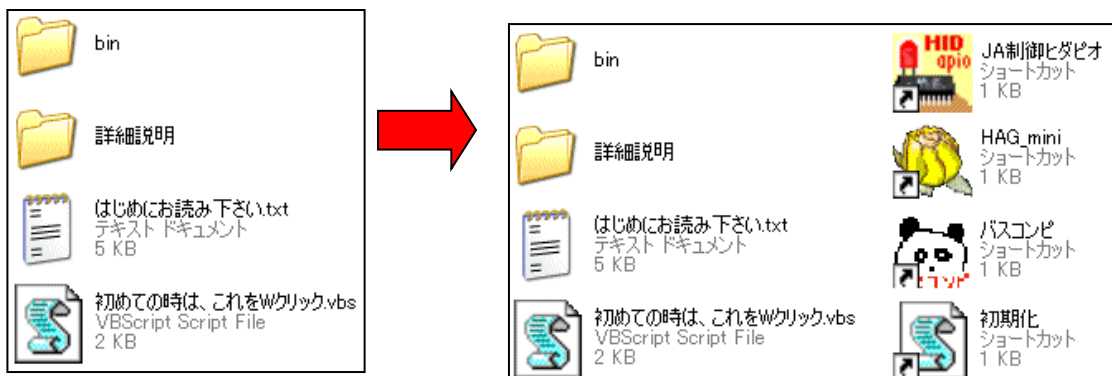
ダウンロード (2013.11.09 版) [www.hidapio.jp/ja\\_hidapio.exe](http://www.hidapio.jp/ja_hidapio.exe)



(2)「ja\_hidapio.exe」をWクリックして、解凍すると、「ja\_hidapio」フォルダができます。

(3)最初だけ「ja\_hidapio」フォルダの中の「初めての時は、これをWクリック.vbs」をWクリックします。

※以後「ja\_hidapio」フォルダの場所を移動したときは、「初めての時は、これをWクリック.vbs」をWクリックしてください。



## プログラムの作成から書き込み

(1)「JA制御ヒダピオ」のショートカットをクリックして始めます。



(2)プログラムの作成

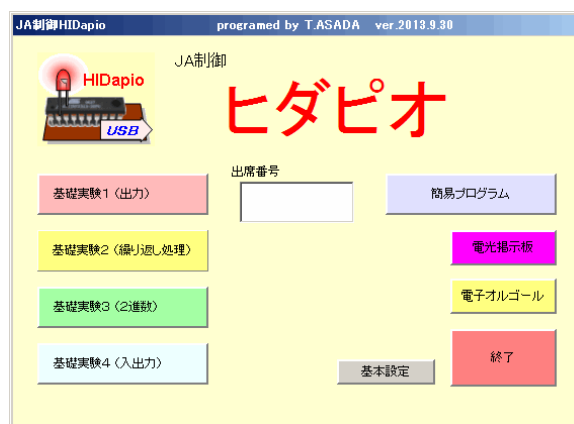
※詳細は「ヒダピオシステム」の中の「JA 制御ヒダピオの使い方」を参照してください。

[www.hidapio.jp/](http://www.hidapio.jp/) ヒダピオシステム

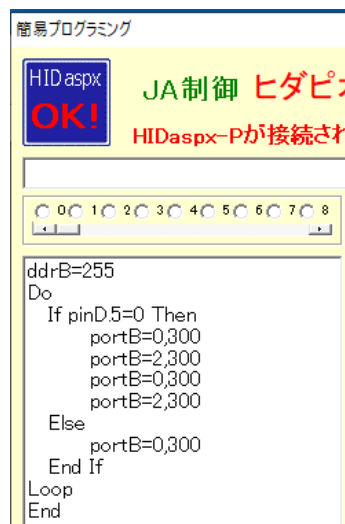
○出席番号を入れて「簡易プログラム」でスタートします。

※出席番号によって、それぞれのメニューのファイルが保存されます。

(例)3年4組5番→3405 先生は「0000」を使います

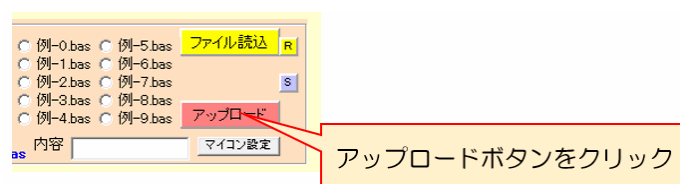


○プログラムを作成します

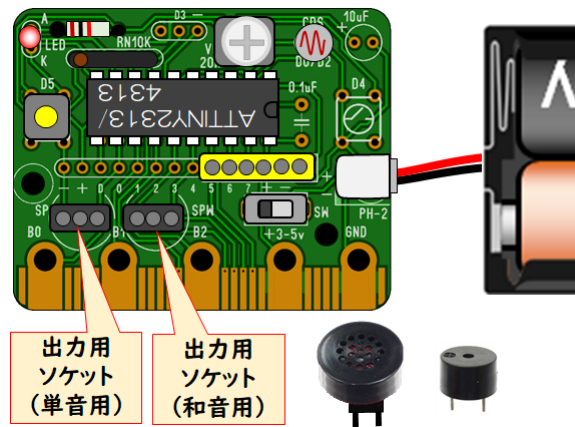


(3)「ヒダピオ学習回路」の接続

(4)プログラムの書き込み

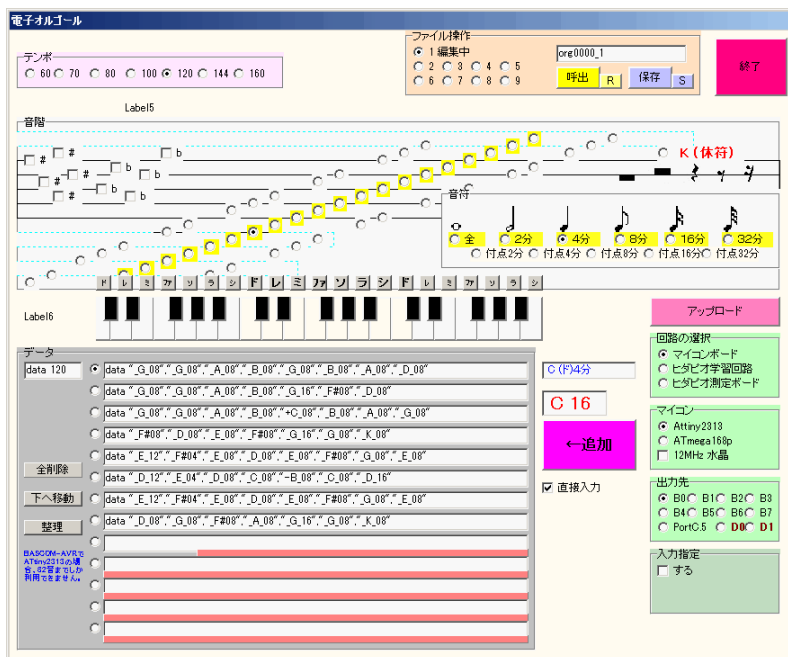


## 電子オルゴール（単音）



(1) スピーカを単音用に差します

(2) 「簡易プログラム」でプログラムするか、または「電子オルゴール」で音符データを打ち込みます。



(3) 「アップロード」ボタンを押して書き込みます。

```
ddrB=255
```

```
Do
```

```
  Waitms 500
```

```
  Gosub mplay
```

```
Loop
```

```
End
```

```
Sub mplay
```

```
  Sound portB.0,335,319
```

```
  Sound portB.0,422,253
```

```
  Sound portB.0,502,213
```

```
Return
```

## 5. 「ArduBlock for HIDapio」

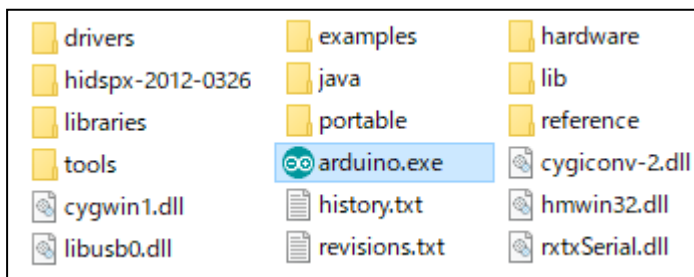
### 準備

(1)「arduino-0101-portable3-ArduBlock-20131228.zip」をダウンロードして保存します。

arduino-0101-portable3-ArduBlock-20131228.zip (約 143MB, Windows 用)

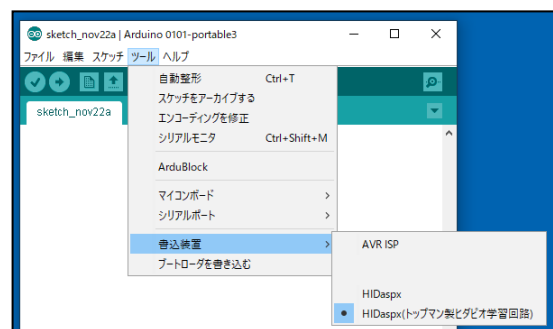
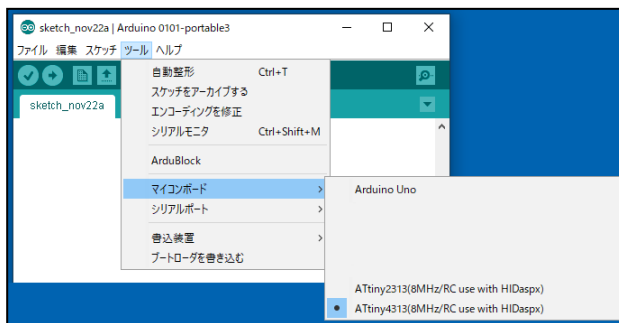
<http://n.mtng.org/cgi-bin/downcon.cgi?down=http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~gijutsu/mitunaga/arduino-0101-portable3-ArduBlock-20131228.zip&name=arduino-0101-portable3-ArduBlock-20131228.zip&hp=http://n.mtng.org/ele/arduino/ardublock.html>

(2)これを解凍すると「arduino-0101-portable3+ArduBlock」フォルダができます。



(3)「arduino.exe」を起動して、「マイコンボード」と「書込装置」を設定します。

①「ツール」「マイコンボード」を「ATtiny4313」にします

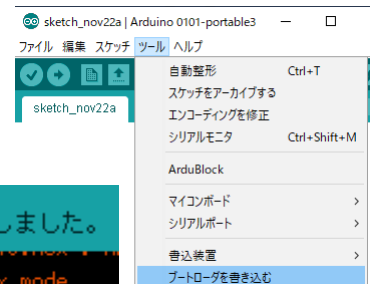


②「ツール」「書込装置」を「HIDaspix (TOPMAN 製ヒダピオ学習回路)」にします

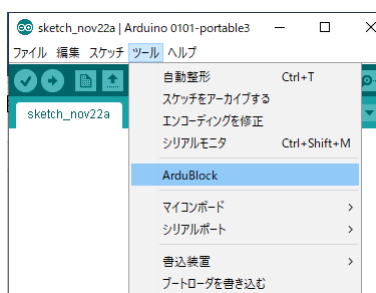
(4)「ツール」「ブートローダーを書き込む」でレジスタを設定します。

※マイコンが変わるときは、初めに1回だけします。

Lock Bits are programmed が表示されれば完了です。

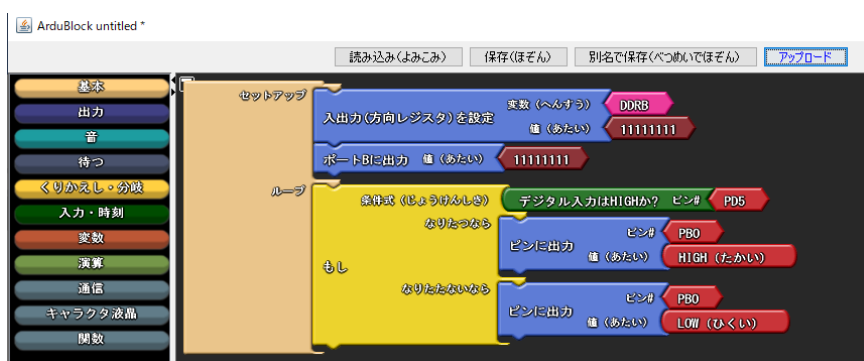


(5) ArduBlock を起動します。



## プログラムの作成と書き込み

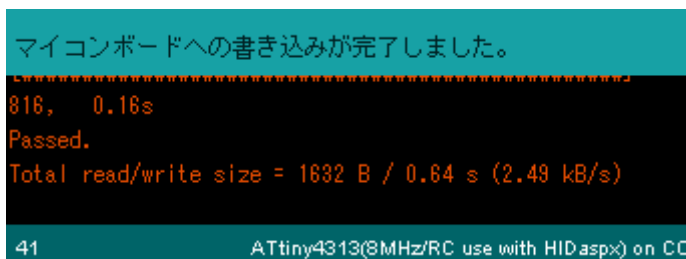
(1) プログラム作成



(2) 「ヒダピオ学習回路」の接続

(3) プログラムの書き込み

Passed が表示されれば完了です。



## 6. 「mymelo for HIDapio」

※詳細は「ヒダピオシステム」「単音／和音オルゴール」をご覧ください。

### 準備

(1) 「mymelo\_Hx160727.lzh」をダウンロードして保存します。

※保存する場所の例) デスクトップ、マイ ドキュメント、Dドライブ、USBメモリ

ダウンロード [mymelo\\_Hx160727.lzh](http://mymelo_Hx160727.lzh) [www.hidapio.jp/ja\\_hidapio.exe](http://www.hidapio.jp/ja_hidapio.exe)

(2)「mymelo\_Hx160727.lzh」を解凍すると、「mymelo\_Hx160727」フォルダができます。

(3)最初だけ「mymelo\_Hx160727」フォルダの中の「初めての時は、これを W クリック.vbs」を Wクリックします。

※以後「mymelo\_Hx160727」フォルダの場所を移動したときは、「初めての時は、これを W クリック.vbs」を Wクリックしてください。

## スピーカーの設置

(1)和音用に設置します。


## ソースファイルの作成

(1)メモ帳で作成し、テキストファイルで保存します。

```
トラック1  
そみ8ふあ8そら そみ8ふあ8そ`ど  
トラック2  
んん8ん8んん んん8ん8んみ  
トラック3  
ど8そ8み8そ8ど8そ8み8そ8
```

(2)ソースファイルを「mymelo アップロード」にドラッグ & ドロップします。



	ヒダピオ M ボード (簡易使用説明書)	
編集・著作：浅田寿展	発行者：JA 教育研究会	【本書の無断転載を禁ず】